

事例 7

専用マウスの製作

1 相談内容

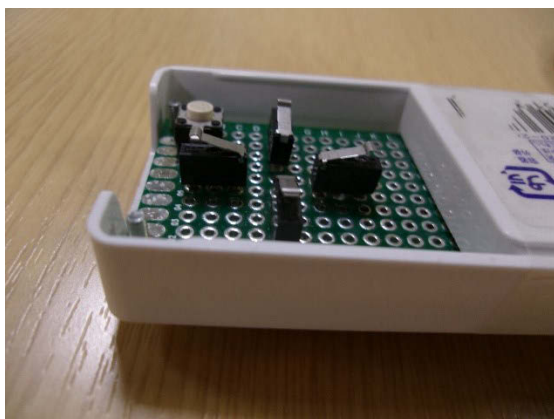
本人から文字入力やパソコン操作に使っていた周辺機器(一般市販品、タッチセンサ付きマウスキーボード)が廃盤で手に入らなくなり、今使っているものも先日壊れてしまったので、何とかこれまでと同じようにパソコンを操作して Web ページを閲覧したり、メールのやりとりを継続したいとの相談がありました。訪問して本人の動作を確認したところ、口にマウススティック(直径 4mm、長さ 200mm ほどの割り箸、先端に滑り止めゴムあり)をくわえて操作していたことから、マウススティックでスイッチを押し、カーソルを動かすことのできる本人専用のマウスを製作することにしました。

2 利用者プロフィール

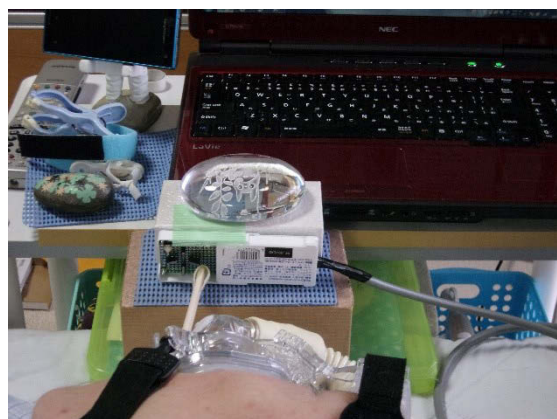
20 代男性、筋ジストロフィにより、身体障害者手帳 1 級の方です。家族と暮らしており、ほとんどベッド上で生活されています。

3 対応

専用マウスとして、オリジナル USB 入力デバイスを作るための小型モジュールを使い、専用ソフトウェア(簡単設定ツール)によってマウスカーソルの方向や速度を割り付けました。本人はマウススティックを動かせる範囲(可動域)が狭いので、縦横 30mm 以内にレバースイッチ 4 個と押しボタンスイッチ 1 個を配置し、それを押す力は軽いものを選択しました。本人はベッドに横向きの姿勢(側臥位)で、口にマウススティックをくわえて専用マウスを操作します。また文字入力はパソコンのスクリーンキーボードを使つての代替で可能となりました。



4 方向のスイッチと左クリック用スイッチ



操作の様子

4 結果

本人からは何とかパソコンが使えるようになってうれしいという感想をいただきました。

5 予算

5,700 円程度